学校番号	３０３２Ｂ

令和８年度　農業科

教科	農業	科目	野菜	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「野菜」（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，野菜の生産と経営に必要な資質・能力の育成をめざします。
２・３年継続履修科目です。

2　学習の到達目標

（１）野菜の生産と経営について、体系的・系統的に理解するとともに、実際に活用できる知識・技能を身に付けるようにする。
（２）野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として、様々な状況にも対応できる思考力・判断力・表現力などを養う。
（３）野菜の生産と経営について、生産性や品質の向上が経営発展へつながるように、自ら学びに向かう力や人間性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	野菜の生産と経営について、体系的・系統的に理解しているとともに、実際に活用できる知識・技能を身に付けている。	野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として、さまざまな状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を身に付けている。	野菜の生産と経営について、生産性や品質の向上が経営発展へつながるように、自ら学びに向かう力や人間性を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	野菜生産の役割と動向	○野菜の種類と特徴 ○野菜の栽培環境と生育調整 ○野菜の安全性	a: 野菜の種類と特徴などに関する基礎的な知識を身に付け、生育調整などの重要性を理解している。 b:野菜の栽培環境と生育調整について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 野菜の特徴や安全性について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 実習記録 小テスト 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録
	野菜の栽培管理	○夏野菜の播種・育苗 ○果菜類の栽培(トマト・キュウリ・ナスなど) ○茎葉菜類の栽培(タマネギ　根深ネギなど) ○収穫と出荷調整	a: 野菜の栽培に関する基礎的な知識を身に付け、その技術を適切に活用している。 b: 野菜の種類や生育特性に応じた栽培管理について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 野菜の種類や生育特性とそれに応じた栽培管理について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	実習記録 単元考査	授業観察	授業観察 実習記録
後期	野菜の流通と鮮度保持	○育苗の目的と方法 ○育苗技術の実際と応用 ○ ○野菜生産の経営改善	a: 育苗技術や経営に関する基礎的な知識を身に付け、経営改善などの重要性を理解している。 b: 育苗技術の実際と応用について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 育苗技術や野菜生産について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録
	野菜の栽培管理	○秋冬野菜の播種・育苗 ○葉茎菜類の栽培(キャベツ・ハクサイ・ブロッコリー・ホウレンソウなど) ○根菜類の栽培(ダイコンなど) ○収穫と調整作業 ○1年間の整理とまとめ	a: 野菜の栽培に関する基礎的な知識を身に付け、その技術を適切に活用している。 b: 野菜の種類や生育特性に応じた栽培管理について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 野菜の種類や生育特性とそれに応じた栽培管理について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	実習記録 単元考査	授業観察	授業観察 実習記録

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度